

あぶくま農学校2002年冬季集中セミナーを開く



「どうする、どうなる、おいらの経営」

— 私達は、いま何をすべきか —

角田市農業振興公社と角田市農業経営者会議が主催する「あぶくま農学校二〇〇二年冬季集中セミナー」が角田駅オーケプラザを会場に三回に分けて開催されました。

第一回目は、「農協が倒産する日」などの著書で知られる農業評論家の土門剛氏が『ボータレス時代の米生産・流通戦略』と題して講演。「農協は全農委託

販売だけに頼らず、買い取り集荷を行い自己努力にて販路を見出し行かなければならない」と農協の今後について話しました。

第二回目は、あぶくま農学校客員教授の東北大学大学院経済学研究所の大滝精一教授が『今年の日本経済の動向』と題して講演。「地域の中小企業は生き残りをかけグローバル型・オンリーワン型・ソリューション型と模索し形態が変わってくる。農業の分野においても多品目少量生産がさらに進むだけでなく、従来にもまして地域密着・顧客密着が成功のポイント」と話しました。

ト」と話しました。

第三回目は、高崎経済大学地域政策学部・農学博士吉田俊幸学部長が『水田の農業政策のゆくえ』と題して講演。「計画外流通米が半数近くを占めるようになった昨今、米流通の多様性（多チャネル）についての検討・米産地での稲からの脱却の必要性について」お話し頂きました。

ビデオを見ながら直売所学習会 —多角的な流通販売プロジェクトチーム—

魅力ある直売所づくりを目指そうと12月3日、JAみやぎ仙南総合営農センターを会場に直売所学習会を開きました。

学習会を開くにあたり、事前にあぶくま農学校客員教授の渋谷先生に市内の直売所を調査していただき、その時のビデオを見ながら、それぞれ直売所の講評とアドバイスを受けました。会場に集まった生産者約50名は、熱心にメモをとりながら、質疑を行いました。



農業振興公社のホームページを リニューアルしました。

平成12年11月に開設した角田市農業振興公社のホームページ「ウェブマガジンあぶくま農学校」が新しいコンテンツを増やし、また、より開きやすく平成13年12月1日にリニューアル致しました。

また、メールアドレスを変更致しましたので、お知らせいたします。

新メールアドレス

kakuda@kakunou.or.jp